

吹田市民営化保育所移管先選定委員会（第6回） 議事要旨

- 1 開催日時
平成29年2月9日（木）午後6時00分～午後10時20分
- 2 開催場所
吹田市役所中層棟4階第4委員会室
- 3 出席委員
9名
- 4 次第
 - (1)開会
 - (2)藤白台保育園移管先候補事業者の面接調査
 - (3)藤白台保育園移管先候補事業者の最終審査
 - (4)答申（藤白台保育園分）
 - (5)閉会
- 5 議事(要旨)

1 開会

委員長： 第6回選定委員会を開催いたします。会議の成立を事務局にお願いいたします。

事務局： 本日の出席委員は9名でございます。委員数の半数以上のご出席を得ておりますので、本日の委員会が成立している旨、ご報告いたします。

2 事業者の面接調査

委員長： それでは、第2 藤白台保育園移管先候補事業者の面接調査について、事務局からの説明を求めます。

事務局： 【資料】について説明

委員長： 面接調査に先立ち、各事業者の財務状況等について、会計に関して専門的知

識を有する〇〇委員に御説明をお願いします。

委員： 【各事業者の財務状況等】について説明。

委員長： ありがとうございます。引続いて委員間協議を行います。

(委員間協議)

委員長： 委員間協議が終わりました。これから各事業者の面接調査を行います。

面接調査

(社会福祉法人耕心会入室)

委員長： 社会福祉法人耕心会の企画提案を受けます。

耕心会： まず、園運営と保育内容についてお話をさせていただきます。

移管に際して一番大事にしたいことは、保護者の方々の不安軽減に努めることです。移管の条件にありましたように、行事の保育内容等については、全て引き継いでいこうと思っております。当園でまだ取り組んでいない行事内容や保育内容等もあると思いますが、引継ぎ期間中にどのようなことを大切に行ってきたのかを確認しながら、精神もしっかりと引き継ごうと思っております。

当園は、開園して5年とまだ短いので、行事や保育内容に関して、保護者の方からこのようなことをしてほしいと御提案いただきました。それを受けて、全職員で話し合いを進め、柔軟に対応してきたという経緯がありますので、自信を持って引継いでいきたいと思っております。

藤白台保育園の行事や保育内容だけではなく、当園で5年間培って、大切にしてきたこともありますので、御理解いただければ積極的に取り入れていきたいです。例えば、音楽会の行事を開催しています。普通の園では、子どもの発表会がメインになると思いますが、子どもの発表だけでなく、京都市の芸術大学の学生によるクラシック演奏会を毎年行い、本物の音楽に触れてもらう機会を設けています。小さなお子さんをお持ちの保護者の方は、演奏会を楽しむ機会が少ないと思いますので、喜んで参加していただいております。

また、囲碁活動も行っております。保育時間外ではなく、5歳児の通常保育で取り組んでいます。囲碁の楽しさを伝える意味もありますが、それ以外に相手と対局することにより、相手のことを考えたり勝ち負けが発生したりします。

真剣にやればやるほど勝ちにつながるので、それがすごくうれしいし、自分は頑張ったという自信にもつながります。逆に負けて悔しいという気持ちも大事にしています。負けると悔しいけど、面白いからもっとやってみたい、次は頑張りたいと、粘り強く取り組む力を育てていると思っています。

保育内容としては、ひとつのテーマで遊ぶことを大切にしています。今年度の年長クラスでは、1年間を通して段ボールを使って遊ぶ活動をしています。段ボールで自分の家を作ろうとすると、子ども達は色々なことを考えます。自分の普段の生活から、何が必要かを一生懸命考えて作ろうとしますが、初めはイメージしたとおりに出来ないことがほとんどです。そういった失敗を重ねて少しずつ工夫しながら1年間取り組んでおります。

幼児クラスだけではなく、2歳児クラスでも半年間継続して、鳥を製作しています。お世話をするのが好きな時期ですので、羽や目を作ってあげたり、母親代わりになってその鳥に餌を作ってあげたりもしています。子ども達は毎日楽しく過ごしながら、園の出来事を家で保護者とお話していますので、連絡ノートに鳥の話題がよく出てきます。それだけ子ども達は興味を持っており、今日は何をやるのだろうと楽しみに園に来ています。

こういう活動を通じて、保育方針にある「心優しく素直でねばり強い子どもを育てます」ということを目指しています。子ども達の未来を見据え、困難なことがあっても明日への期待を持って、ねばり強く進んでいって欲しいという思いで、発達に応じた保育を進めています。こういった内容も保護者の方の御理解がいただけたら、是非取り入れていきたいです。

当園は若い職員が多く、経験年数が少ないため、不安に思われる点が多々あると思いますが、若いからこそできる柔軟な対応、吸収力、素直さを大事にしながら職員を教育しています。それでも足りない部分は、保育アドバイザーとして湊川短期大学や千里金蘭大学の先生に来ていただいております、色々な御相談を行っています。

障がい児保育についてお話いたします。今は、2名の発達支援が必要なお子さんをお預かりしています。加配という形で保育士をつけていますが、その内の1名は、療育施設での勤務経験者です。発達支援というのは、短期的な視点で改善していくのは難しいため、長期的なプランを作成し、もう一人の加配の保育士と協力体制を取っています。

また、提携している訪問看護ステーションがあり、そこから保健師、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士に来ていただき、アドバイスをもらっています。支援が必要なお子さんに対しては色々な計画を立てて、保育を進めています。吹田市の子ども発達支援センターとも緊密に連絡を取りながら、お子さんはもちろん、保護者の方も支援しています。

修繕についてです。1年目に調理室の改修をしていきたいです。調理室を拝見しましたが、少し光量が少ないと感じました。明るく開放的な調理室にしたいと思っています。調理室は、当園でも使っている食洗機やスチームコンベクションを導入して、調理士や栄養士の負担を減らし、効率的に調理ができるようにしていきたいです。

新しい給食設備により給食の提供時間を短くすることで、栄養士が献立の作成をしっかりと行い、実際の食事の様子を確認しながら保育現場に関わっていただけるようにしたいです。

保育士確保についてお話いたします。保育士不足がニュースでも取り上げられており、心配されていると思います。しかし、理事長や理事、監事の中には保育士の養成校で勤務している者が多くおり、様々な養成校と太いパイプを持っております。実際に色々な大学の学生が園の見学に来てくれますし、我々も後進の指導という意味を含めて、学生の活動支援をしていきたいという方針を持っております。

具体的には、京都市の芸術大学の学生が音楽の演奏を、佛教大学の学生が児童文化の講演を、京都大学の学生が色々な保育の実践をしてくれていますので、そういったなかで、学生達とお話しております。また、実際に採用の応募をいただいた時には、色々な雑談を含め、当園の保育内容や園運営の考え方等をたくさんお伝えし、応募された方のお話も聞きながら、ミスマッチを出来るだけ防ごうとしています。当園では来年度も職員が充足しており、空きがあれば声をかけてくださいと言ってくる方もいます。

採用後は長く勤めることができる職場環境作りを考えており、まずは勤務時間の厳守に努めています。職員を手厚く配置することで、勤務時間内に書類の記入等の時間を確保できるようにしております。全クラスにパソコンを導入して、情報の共有や書類記入等のデータ管理を行うことができるようにしています。保育士宿舍借上費等を利用しながら、福利厚生をしっかりと充足していきたいと思っております。

キャリアパスやキャリアラダーについてお話いたします。保育士は、なかなか研修の機会が確保できないという課題がありましたが、職員配置を手厚くし、平日の昼間に子どもの保育に支障がない範囲で、研修参加できる機会を確保しています。また、小中学校の先生に来ていただき、保育体験をしてもらっていますし、幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校、大学で幼児関係を担当している先生方に園に集まってもらい、半年に一回教育保育の大規模な勉強会を行っております。

委員長： 社会福祉法人耕心会の企画提案が終わりました。次に質疑応答を行います。

委員： 保育の考え方についてお伺いします。現在、子どもに対する保育で一番大切にされていることを教えてください。

それから、現状の藤白台保育園の保育を引継ぐことが基本ですが、民間の特徴を活かして、今後行っていきたいと考えていることがありましたらお聞かせください。

耕心会： 企画提案でもお伝えしましたが、一つのテーマに絞り込み、一つのことを粘り強く、子どもが納得するまで取り組んでいくような保育をしていきたいと考えております。

また、来年度から自園給食を行うために栄養士3名の採用を予定しております。栄養士が地域の旬の野菜や果物を使って作る給食ですので、地域の皆さんに開放することを考えています。週に2回程度実施して、未就園児のお子さんを持つお母さんやお年寄りの方にも、散歩の途中に立ち寄って給食を食べていただく機会を作りたいと思っています。

藤白台保育園はとても広くて自然環境に恵まれており、園庭にベンチを出して、給食を食べてもらうようなこともできると思います。地域の中に保育所が自然に溶け込んでいけるようにしたいと考えております。

委員： 違う地域に行かれて保育所を運営されることになるわけですが、その点についての不安は感じておられますか。また、どのような姿勢で地域活動をしていこうと考えておられるのか教えてください。

耕心会： 5年前に南吹田の地域にやって来ました。全く知らない地域で何のつながりもない状態からのスタートでしたが、一番大切にしたのは地域や自治会とのつながりです。自治会が主催する夏祭りや地域の子ども会の活動、地域の老健施設への慰問にも積極的に参加を行いましたし、地域への募金活動や会費などの経済的なつながりも大事にしてきたため、その積み重ねで信頼が出来てきたと思っています。

何も知らないことで、余計な先入観なしに地域に入っていくことが出来て、受け入れてもらうことが出来たとも考えています。藤白台保育園を引継ぐことができれば、その点を大切にしていきたいと考えています。

委員： 事業計画では、500万円の修繕費用とは別に1,000万円ずつの積み立てをされていますが、その内容について教えてください。

耕心会： 今の園舎の修繕積立金を主な用途として計上しておりますが、藤白台保育園

を引継ぐことができれば、藤白台保育園の費用として使うことも考えています。

委員： 藤白台保育園に使う場合は、何年後にどのような内容の修繕を行うのか、または建て替えるのか。その点はどのようにお考えですか。

耕心会： 当面は1年目に小規模修繕を考えています。先程申し上げた調理室の關係に費用を充てたいと思っています。移管実施は平成31年度ですので、それまでに毎年金額を積み立てていくようにしたいと思います。もちろん不測の事態が起って、園舎の工事が必要になればそちらに充てることとなりますし、その場合の計画もしております。

委員： 計画にある事業収入は、現在の藤白台保育園での保育料等から計算したものでですか。

耕心会： 現在の公定価格を基本にしていますが、保育士宿舎を職員が利用する場合や、障がいのあるお子さんをお預かりする場合には補助金の申請を行うこととなります。実際に園におられるお子さんによって多少変わってきます。

委員： 藤白台保育園を引き継いだ場合には、病児保育にも取り組みたいと資料にありました。病児保育の提供内容について教えてください。
また、現在の吹田くすのき保育園では実施していますか。

耕心会： 藤白台保育園で提供を予定している病児保育は、体調不良児対応型です。朝、お子さんをお預かりした後に発熱したような場合には、お迎えをお願いすることになりますが、どうしても仕事を抜けてお迎えに来るのが難しい場合もあります。そのような場合に、保健コーナーでお預かりしながら看護師がお子さんをケアすることになります。

園でお預かりしているお子さんが対象です。まずは在園しているお子さんを安全にお預かりするために、体調不良になった場合に備えて対応していきたいです。当園では来年度から実施する予定です。

委員： 来年度から吹田くすのき保育園で看護師を配置すると伺っております。藤白台保育園を引き継ぐ場合には、もう1名の看護師採用が必要と思いますが、看護師の確保は難しいと聞いています。その辺りをどのようにお考えでしょうか。
また、配慮が必要なお子さんに対しては、療育施設で勤務されていた方が1名いるということでした。藤白台保育園にも配慮が必要なお子さんはいます。

対象となるお子さんが増えることにはなりますが、どのように対応されるのか教えてください。

耕心会： 看護師については、提携している訪問看護ステーションがありますので、そこから紹介してもらいます。次年度に採用する看護師の方は小児専門で、もともとは病棟勤務です。

子育て世代の看護師のなかには、夜勤がない勤務体系を望んでいる方が多くいらっしゃるという聞いており、藤白台保育園に勤務する看護師を紹介することはできますと言っています。

配慮が必要な園児の保育については、療育経験のある職員のほかに療育に前向きな職員がおります。その方にノウハウを伝えながら保育を行い、職員の育成を進めています。お子さんの程度に応じて、療育経験のある職員が藤白台保育園で必要であれば勤務させますし、当園で必要であれば当園で勤務することになります。

委員： 吹田くすのき保育園は、少し間口が狭いので、子どもが出入りするときは職員の方が配慮されていると思います。また、周りは住宅が密集しているため、外から不審者が入って来ることはないと思いますが、藤白台保育園は交差点の角にあり、フェンスはそれほど高くありません。園庭の南側には空地もありました。登園時や降園時にどのような形で安全管理をされるのか教えてください。

また、申込書類として提出された施設・設備管理についてお聞きします。木材やフローリングについて多く書かれています。吹田くすのき保育園では、床面や壁面を含め木材を多く使用していると書かれています。藤白台保育園を引継がれた場合には、同じように木材を多く使って施設整備を進めていきたいとお考えですか。

耕心会： おっしゃる通り当園は間口が狭く、園児数も少ないので警備員を置いておりません。職員が登園降園時には立っており安全確保をしています。藤白台保育園を引継ぐ場合には、まず話を聞いて、不安な部分があればカメラを設置します。人的な面では地域の方との協力をさせていただきます。朝の駐輪等の対策も考えております。当園は社協や自治会、防災委員会と連携しています。藤白台保育園でもそういった方に相談して、御協力いただけるのであればお願いしたいです。

当園のフローリングは年末に職員を含めて大掃除をしています。子どもに害のない木材会社の専門薬を使ってワックスをかけながら、長く安定的に使うためのアドバイスをいただいています。

また、新しい園舎ですので職員も大切にしており、メンテナンスを行っています。本棚やロッカー、ベンチ等様々なものに木材製品を使っています。子どもは木材が好きですし、安心して使ってくれるので国産の木材を使うことが大切と考えています。藤白台保育園でも、引き続き、安全に長く使えるフローリングにしたいです。

委員： 吹田くすのき保育園がある南部と藤白台保育園のある北部とは地域の特性がかなり違うと思います。それぞれの地域特性をどのように考えていますか。

また、社会福祉法人として、社会貢献についてどのように考えておられるのか教えてください。

耕心会： 先日、見学会に参加した雰囲気だけで申し上げますが、家それぞれの建物が大きく、文教地域というイメージを受けました。今後、自治会等と協議をするなかで違いを教えてもらい、勉強しながら対応していきたいと思っています。また、当園の保育アドバイザーは千里金蘭大学から来ていただいています。この方からも地域の様子を聞いたりしながら、勉強していきたいと思っています。

社会貢献については、社会福祉法人法の改正もありますし、社会福祉法人自体が担う責務も大きくなっていると色々な面で強く感じています。社会福祉の分野で我々が運営しているのは、保育所や認定こども園という保育に携わるところですので、地域の子育てを含めて、小さなお子さんをお持ちの家庭に対して、我々の持っている専門性をどのように貢献していけるかについて考えないといけないと思っています。

具体的に申し上げますと、南吹田地域で子育て支援活動の一環として育児教室などを行っています。当園の職員が、地域の子育て家庭の皆さんに様々な情報や遊びの場を提供しています。我々と繋がりのある薬剤師の方に来てもらって、子どもとお薬の話を地域の皆さんに聞いてもらったりもしています。草の根的な動きかも分かりませんが、我々が持っている専門性や人的な財産を活かし、地域に対してできるだけ多く提供していくことが、社会貢献の一步と考えています。

副委員長： 給食の提供体制について保護者の方は不安をお持ちだと思います。給食を提供するにあたって、先程お話のあった設備以外の面で配慮すべきことがあれば教えてください。

また、保育所であれば、保健面とか健康面、感染症予防が重要になってくると思います。そういった点に対する研修等、特に配慮していることを教えてください。

耕心会： 給食は、今までのメニューや大事にされてきたことがあると思いますので、しっかりと引継ぎを行います。

今は給食会社が入っていますが、来年度から自園給食を始めるため職員を雇って準備を進めている段階です。まだまだ未熟だと思いますが、これまで積み上げていったことを活かしながら、藤白台保育園で提供していきたいと考えています。

当園は地域の旬の食材を使いながら和食を中心にしております。保護者の皆さんはお忙しいですので、朝ご飯をしっかり食べてこれなかったり、パンで済ませてこられることもあります。お昼はごはんとお味噌汁を提供するというのを大事にしており、そういった部分も引き続き行いたいと思っております。

感染症の防止と健康面については、訪問看護ステーションと連携して合同で研修を行っています。訪問看護ステーションの保健師に来てもらって、教えていただくこともあります。

当園では次亜塩素酸ナトリウムの消毒薬を用いて感染症の予防をしています。ノロウイルスが流行る時は、どの園も使っておられると思いますが、特に流行期でなくても、未然に防ぐために使っています。

また、保育士の数を多めに配置しておりますので、熱が高い子どもがいた場合には、その子どもだけ個別で丁寧に対応しています。今は食物アレルギーのお子さんはいませんが、昔はエピペンが必要なお子さんをお預かりしたこともあります。給食室との連携を密にしてマニュアルも整備しております。

副委員長： 訪問看護ステーションの方と連携しながら研修をされているとのことですが、藤白台保育園を引継いでからも、距離的に連携は可能ですか。

耕心会： 十分可能です。

委員長： 管理職等になるための考え方や、研修を受けたり、何かを行った場合に処遇が変わってくるというプログラムをお持ちでしょうか。個々の法人として説明する責任も出てきますし、なぜこの人が主任になったのかと聞かれた場合に、キャリアがあるからです、では説明になりません。採用した後に、育てていくためにはそういったものがある方が良いと思います。そういったキャリアパスについてどのようにお考えか教えてください。

耕心会： 保育の分野では、キャリアパスやキャリアラダーの形成は手薄になっていたと思います。園の中でも管理職のポストは主任と園長しかなくて、何年勤めても役職が付かないし、処遇も上がっていかないのは業界全体として大きな問題

と捉えています。

ヨーロッパにあるピラミッド型のようなキャリアラダーを持っているかというはまだ整備できていないというのが正直なところですが、ただ、問題意識としては強く持っています。当法人は男女問わず若い職員が多いですから、それぞれが家庭を持って自分のプライベートと仕事をどう充実させていくかについて、法人として大事にしていかなければ採用しても続きません。どのような制度にしていくか検討していかなければなりません。

私は養成校に勤めており、よく学生を見ているのですが、彼らは3月まで学生で4月になったらすぐに先生という責任のある仕事に就きます。そして、クラスを任されることになりませんが、全てをフォローするのは難しいです。そのため、法人の中でいろんなキャリアを持っている人が一緒にペアを組むような形でクラス配置を行っています。今は、国の方でも色々な施策を進めており、副主任保育士や専門リーダーの考え方が出てきています。色々な勤務経験や研修等によって、新たな役職に就くといった考え方が進んでくると思っていますので、そういったことを参考にしながらキャリアパスを作っていきたいです。

委員： 今回は、吹田保育園と藤白台保育園を同時に募集していました。地域的には吹田保育園の方が近いですが、藤白台保育園に応募された理由を聞かせてください。

また、藤白台保育園を引き継いだ場合には、吹田くすのき保育園の児童数や職員数に比べて、ぐっと人数が増えると思います。その点について心配されていることや、予想されている変化について教えてください。

耕心会： 藤白台保育園の園舎の広さに魅力を感じました。当園は街中の密集した地域にあり、吹田保育園も似通った感じですが、藤白台保育園は園庭も広く、近隣に大きな公園や自然もたくさんあります。自然のある広々としたところで、色々な活動をしたいという職員もおり、職員の希望に応える意味でも似通った吹田保育園ではなく藤白台保育園を選びました。

変化はたくさんあると思います。例えば、登降園での安全管理をどうするか、新たな行事を取り入れる際に保護者の方に御理解いただけるのか、給食についても、藤白台保育園でのメニューとは別に、我々が良いと思ったものをお伝えしていくことができるのか。色々なことについて丁寧に話し合いをしながら解決していかなければいけないと思っています。

当園では、保護者の方と個別と集団で年2回の懇談会を行っておりますが、回数をもっと増やす必要があると思っています。登降園の時だけでは、しっかり話をすることは難しいですので、話し合いの窓口を作ったり、カウンセラー

を含めた職員を使って解決していきたいと思っております。

委員： 保護者からの費用徴収についてお聞きします。現在、公立保育所では布団代と連絡帳は費用がかからず、給食は主食費として月 800 円です。民間になるとそれを維持するのが難しく、価格を変えなければ質を下げるということになりかねないと思いますが、その点についてはどのようにお考えでしょうか。

また、藤白台保育園では、シルバー人材センターから 2 名の方が安全管理員として来ていただいております、子ども達とも良く接していただいております。お二人の意向にもよりますが、民営化後も引き続き来ていただきたいと思っております。その点はどうでしょうか。

耕心会： 実際に運営してみないと分からないことが多いと思います。今回の提出資料を作成する際には給食費を 800 円で計算しています。運営のモットーとして、保護者の負担をなるべく軽くしたいと考えており、制服や体操服等は導入していません。布団については持込可としていますが、園でも販売用の布団を備えています。価格は 3,000 円です。その他の費用負担としては、遠足の交通費等の実費負担をいただいただけですので、費用徴収の金額は大して変わらないと思います。

シルバー人材センターの方が安全管理員として 2 名来ていただいているということですが、つながりを大切にしたいので、是非その方たちに継続して働いていただきたいです。

委員： 藤白台保育園を引き継いだ場合は給食費を 800 円にされますが、吹田くすのき保育園の給食費は 800 円ではないですよ。吹田くすのき保育園に在籍されている保護者の方は納得されますか。

耕心会： まずは、藤白台保育園の現状をそのまま引き継ぎたいという思いを強く持っていますので、実際には差があるような形でのスタートになると思います。その点は、時間をかけながら両園の保護者の方と協議させていただきます。給食費だけでなく、色々な部分で差が出て来るとは思いますが、地域の特色等の事情があつて、差があるままで構わないものと、差を埋めなければいけないものについて精査しないといけないと思います。

委員長： 時間になりましたので、以上で質疑応答を終了いたします。本日はありがとうございました。

(社会福祉法人耕心会退室)

(A法人入室)

委員長： A法人の企画提案を受けます。

A法人： 応募の動機と目的を簡単に説明させていただきます。吹田市教育ビジョンの「一人ひとりの発達に応じた幼児教育を行う」といった考え方や、安心して子育てができる環境作りへの取り組み等、吹田市の教育行政は当園の理念と一致しており、強く共感を受けて今回応募しました。

当園では、子どもの成長において体系的で連続性のある学びが大切と考えており、園に通う子ども達がスムーズに小学校へ進学出来るように、様々な保育活動を行っております。これまでの当園における幼児教育の経験に加え、小規模保育事業での経験をもとにしながら、1年間の合同保育において藤白台保育園の保育を学びたいと考えております。

藤白台保育園の見学の際には、当園との施設の近さをあらためて実感しました。藤白台保育園を引継ぐことができれば、この近い立地を生かして多様な活動を行い、より良い保育環境を創出できるものと考えております。子ども達一人ひとりの心と体の成長と就学前教育の一端を担わせていただき、藤白台保育園に通う子ども達の育ちに貢献してまいりたいと強く切望しております。

当園は丈夫な身体と美しい心の育ちを基本にしながら、遊びや各種発表会、イベントに楽しく取り組んでいます。子どもが集中して夢中になれるように、保育を工夫しながら子どもの育ちを見守っております。そして、一人ひとりの子どもの思いを大切に受け止め、気持ちに寄り添いながら保育を進めています。保育を行うにあたっては、保護者の方とも一緒に話し合いをしながら進めております。

また、色々な活動の中での子どものつぶやきを逃さないように、各先生達に子どものつぶやきを書き留めてもらっています。子ども達の活動を見落とすことなく、しっかりと見てあげなければという気持ちを保育士や教員は持っており、つぶやきのノートはどんどん増えていきます。

子ども達を取り巻く家庭支援のために家庭との連携を心がけています。学期ごとに1週間の保育の自由参観を行っておりますし、クラス懇談や教育相談、キンダーカウンセリング等をやっております。私たちが少し気になる子どもがいた場合には、内容をカウンセリングの先生にお伝えして答えをいただきます。それを私たちが確認しながら保育を行っております。

保護者と園と地域が互いに支え合って子どもを育てることを目標にしてい

ます。子ども達は園が大好きです。園に登園したらみんな大急ぎで部屋に走って行きます。プールも他の体育活動も大好きで、家に帰ったらたくさんお話してくれると保護者の方から聞いております。子ども達が安心できる場所、力いっぱい遊びながら保育活動ができる場所ということを常に考えながら研修や研究を重ねております。

子ども達は成長段階に応じて適切な指導や遊びを経験し、友達や先生との関わりを通じて社会性を身につけていきます。保護者と一緒に子ども達を育てることを大切にしており、保護者の方にも先生と同じようにノートの作成をお願いしております。ノートには子どもの誕生日の様子、出来なかったことが出来たときの様子、お出かけした時の様子などを書いてもらい、子どもの成長を実感していただいています。先生はノートを子ども達から見せてもらい、園では分からない家庭の様子について共通理解をしています。批評や助言をする訳ではないですが、先生と子どもがノートの話題についてお話をしながら毎日を過ごしています。

園には多くの保護者の方が来られます。保育所とは少し違うかもしれませんがサークル活動が盛んです。絵本、折り紙、ガーデニング、おやつを作るサークルなどがあります。サークル活動は任意ですが、保護者の方と話すきっかけになりますので、子ども達が家でどのようなことを話しているか等を聞いたりしています。

そして、各種発表会を行うことによって、出来たという自信、やる気や豊かな感性と知性を育てています。日頃から絵本を借りたり、プールや絵を描いたりする活動もありますが、発表会に一生懸命取り組むことを目標にやっております。

11時間半の開所にも取り組んでいます。朝の7時半から夜の7時まで預かり保育を行っていますので、就労している保護者の方も含めてたくさんの方にご利用いただけるようになってきております。

今は幼稚園も保育所も、子ども達にとってはあまり変わらないと考えています。小学校に上がっていくために何が必要かを考え、当園の建学の精神をしっかりと子ども達に伝えながら、藤白台保育園でもしっかりと保育を行っていきたいです。

保育の引継ぎについて申し上げます。引継ぎ期間による合同保育の中で、現在の藤白台保育園の保育内容の継続を基本として引継いでいきたいと考えています。藤白台保育園と当園の保育の良いところを参考にしながら、子どもの育ちに応じて、無理のない保育を実施しながら、保育の質の向上へつなげていきたいです。保護者の方は大変な不安をお持ちと思います。心を痛めている子どももいると思います。保護者の方や子ども達が、今までと変わらずに元気に

楽しく安心して過ごせる保育環境を考え、保育士が子ども達との絆を深められるように、愛情を持って対応していきたいです。各種保育研修へ積極的な参加をしながら、藤白台保育園の保育を三者懇談会や合同保育の場で学ばせていただきたいと考えています。

クラスの職員配置については正規雇用を基本としております。当園も正規雇用を行っており、当園からの異動職員もあると思います。保育士の新規採用も行いますが、子ども達のためにも、現在、藤白台保育園の非常勤職員の先生方に引き続き働いていただきたいです。保育士については、年齢や経験を踏まえてバランスよく配置したいと考えています。看護師は常駐を考えています。

給食は自園調理を考えており、現在の保育所施設を引き続き利用しながら、アレルギー対応も行っています。当園のバス利用を含めて、施設開放や課外教師の活用等も保護者の方の御意見を取り入れながら考えていきたいと思っています。そして、保護者の方との協議を行いながら、継続と見通しを持ったより良い保育を目指していきたいです。長年にわたる信頼関係に基づいた地域との交流も可能ですし、将来の大規模施設改修等も行います。

委員長： A法人の企画提案が終わりました。次に質疑応答を行います。

委員： 近くにあるという立地を活かしながら、幼稚園と保育所の形を超えたより良い教育保育を創出していきたいとのことでした。幼稚園としての経験は十分お持ちですが、保育所を引継がれた場合に、現在の保育所の保育を基本としつつ、将来的にはこういうこともできますという具体的な提案はありますか。

A法人： 園が近いので施設を共用利用することは可能だと思います。バスや運動場、プールなどを考えてはいますが、保護者の方と協議のうえで検討していきたいと思っています。当園の子ども達が楽しく利用しているものを提供していきたいです。

また、当園から多くの子ども達が藤白台小学校に行きます。藤白台保育園からも藤白台小学校に行きます。子ども達が交流することで、小学校に行ってから初めて会うわけではなくなります。また、先生同士も交流しながら、一緒に研修を行い、保育の資を上げていくことができると考えています。

委員： 新しい職員体制に向けた採用計画について、具体的な方策をお持ちなのか教えてください。

A法人： 当園にはたくさんの実習生が来ます。これまでは幼稚園教諭だけでしたが、

各学校に対して保育士の募集を行いますとお伝えすることは出来ると思います。また、来られた学生のなかには保育所の方が良いという方もいます。

二十歳の同窓会を行っていますが、その際に大勢の職員が戻ってきます。そういった方達に、またお仕事をさせていただけないかお声かけしています。幼稚園を辞められた先生たちも保護者としてたくさん来られています。そういった方にもお声かけを行い、再就職しますという声もいただいております。

藤白台保育園を引継ぐことになりましたら、経験のある先生に戻ってきてもらい、正規雇用を中心に考えておりますので確かな保育ができると思っています。その他、一般的な斡旋を行っているところにもお願いしていきます。

委員：平成32年度に2億円を施設設備として計上されています。これは建て替えを予定されているのか、大規模修繕なのか教えてください。

A法人：実際に藤白台保育園を確認したうえで、一気にするのか、何回かに分けてするのかを考える必要がありますが建て替えを考えています。

委員：保育所の運営費はどのように積算されたのか教えてください。

A法人：申込書類の提出時には、概算金額をどのように計算するのか分からなかったもので、現在の藤白台保育園の運営費を参考にしようと思い、同額を記載して提出しました。その後、厚生労働省が出している資料や現在の当園の人件費などをもとに、しっかりと計算して準備をしています。具体的な人員等が決まった場合には、利用可能な補助金等も活用したうえで金額の計算を行います

委員：収入を積算する際に、今の園で行っているサービスを利用する場合の金額を見込んでいますか。例えば、バスやプールの利用料金などです。

A法人：入れておりません。

委員：人件費を計算する際に、どのような方を雇用するか想定して計算されていますか。

A法人：当園の人件費をもとに検討していますが、まだ具体的な人が決まったわけではないので、そこまでの計算は行っていません。

委員：園を見学させていただきましたが、とても広い素晴らしい教育をされてい

ると思いました。藤白保育園を引継ぐのであれば、藤白台保育園と貴園、小規模保育事業との関わりについてどのようなビジョンを持たれていますか。色々な面で違いがありますが、どのように擦り合わせていかれる予定なのか教えてください。

A法人： 個々それぞれに違いがあると思います。職員の研修等は共同で行うこともできますが、子ども達はそれぞれですべきことを行っていく必要があると思っていますので、幼稚園と小規模保育事業と保育所は一緒ではないと思います。

現在小規模保育に来られている方には、連携施設は幼稚園ですとしっかりお伝えしていますが、幼稚園では困るということで入園を辞退された方もいらっしゃいました。ただし、子ども達が同じようにできる活動については、一緒に出来ることもあると思います。一緒に活動して一緒に遊んだ経験を持って小学校に行くことができます。先生同士や子ども同士が触れ合うことができる色々な機会を考えていきたいです。

費用面は藤白台保育園の現状維持を考えています。小規模保育事業では、双葉会費として600円だけをお願いしています。それを使って、ひなあられを食べたり、クリスマス会をしています。お休みについても藤白台保育園の内容を引継いでいきます。

委員： 小規模保育事業がお休みしている時でも、藤白台保育園は子どもを預かっていることとなります。小規模保育の保護者の方から理解は得られますか。

A法人： 最初の入園時に説明しております。法人が一緒であっても別々の施設ですので、御理解いただいた方に入園していただくことになると思います。

委員： 看護師を採用するとのことでしたが、現在は配置されていません。保育現場に詳しい看護師を確保するために何かのルートがあるのでしょうか。また、いつから採用される予定なのか教えてください。

保育所は0歳から子どもを預かります。現在は0歳の保育を行っておられませんが、藤白台保育園を引継ぐまでに保育の研修などを予定されていますか。

A法人： 藤白台保育園を引き継ぐのであれば、協力していただける看護師の方がおりますので話を進めています。社会福祉の関係にお勤めされている方ですが、保育現場でも大丈夫だと思っています。藤白台保育園を引継ぐことになれば、その時から来ていただこうと考えています。

子供の成長は切り取りではありません。3歳だから3歳の保育だけをしてい

れば良いのではなく、その前の0、1、2歳があつての3歳です。常に前の年齢やその後の小学校、さらには社会人になってどんな大人になるのかを考えながら保育をしています。今は0歳児の保育を行っていませんが、内容のことは常に考えていますし、藤白台保育園で教えていただきたいと思っています。

小規模保育事業をする時に、職員は他の施設に1か月間の研修に行きました。また、今も他の施設に研修に行っております。研修を受けることによって保育のスキルが上がると考えているため、今後も続けていく考えです。

委員： 看護師は合同保育時に引継ぎを行うこととなりますが、合同保育前から採用をすることはお考えですか。

A法人： 今もお仕事されていますので難しいと思います。採用時期については、藤白台保育園を引継ぐことが正式に決定した後に、具体的な話を進めていくことになると思います。

委員： 貴園は正門を入ったすぐのところに事務室があります。保護者の方が入って来てもすぐに分かりますし、カメラもあって十分な安全管理ができています。しかし、藤白台保育園は事務室が奥にあります。安全管理のうえでどのような対応を考えておられますか。

また、今はシルバー人材センターから安全管理員が2名来られています。この方達の継続雇用について、どのように考えておられるのか教えてください。

A法人： 藤白台保育園の周辺は人通りが多いですし、たくさん子ども達が出入りするところですから、必要であれば防犯カメラの設置を考えます。

安全管理員は必要なので配置していると思います。必要な人材は配置します。全てを引き続きいこうと考えてはいますが、警備会社の方になるかもしれません。今の方を必ず雇いますということではないです。

委員： 申込書類の中で、施設・設備管理について書いていただいておりますが、この部分には建て替えのことは書かれていません。運営収支計画書では2億円という数字も出ていますし、建て替えを考えておられるのであればこの部分に書いていただくべきだと思ったのですが、書いていない理由は何かあるのですか。

A法人： 収支計画については、初年度からすぐに改修等を行うことはなかなか難しいため2年目に計上しています。そして、引継ぎ後に確認をしっかりと行わなければ、部分改修になるのか全体改修になるのか分かりません。全体改修や建て

替えになった場合には、そのための資金2億円を準備しますという意味で概算額を書いています。

まだ、建て替えすると確定したわけではないので、施設・設備管理の部分には書きませんでした。

委員： 地域の子育て支援をどのように考えておられますか。また、藤白台保育園を引継ぐことになれば、保育所としてどのような子育て支援に力を入れていかれるのか教えてください。

A法人： 当園でも子育て支援を行っております。保護者の方の心配を解消できるような相談場所を作っていきたいと思っています。私や主任は子育て相談員の資格を持っています。研修を重ねている者や、子育て経験のある先生達が相談に乗っていきたくと思っています。

藤白台保育園で行っている事業についても、学ばせてもらって継続していきたくと思っています。

副委員長： 移管後の給食については自園調理を実施するとのことですが、具体的な提供体制について教えてください。

また、感染症予防等の取組みで特に配慮されていることやそのための研修について教えてください。

最後に園長予定者の方にお聞きします。藤白台保育園を引継いでいくにあたって、特に大切にしたいことをどのように考えているか教えてください。

A法人： 給食については、現在当園で実施している給食の提供体制を取り入れるのか、小規模保育事業で4月から実施予定の自園調理を大きく広げるような形で行うのか検討しています。

感染症に関しては、専門の先生の意見を聞きながら子ども達の感染を防ぐことを心がけています。また、緊急メールの配信によって、保護者の方に感染症の流行も含めて周知を行っています。

研修は毎年行っています。AEDの研修も行っていますし、救急対応や感染症の研修に職員が出席し、戻ってから他の職員に伝えて周知しています。当園にはエピペンの対応が必要な子どもがいますので、エピペンの使い方の練習もしております。

引継ぎにあたって大切に考えていることをお伝えします。私も子どもがおり、学童保育が民間に変わるということを経験しました。保護者としてとても不安だったので、藤白台保育園の保護者の方のお気持ちはすごく分かります。保護

者の不安は子ども達に伝わりますので、子ども達も何か分からないけど少し不安ということもきっとあると思います。

藤白台保育園のこれまでの歴史や良いところがありますので、それを大事にしながら、当園が行ってきたことや学んできたことをプラスアルファして一緒に出来たら良いなと思っています。最初からいきなり変えるのではなくて、今の状態を引継いでいながら保護者の方や子ども達に安心していただき、少しずつ新しい物を足していきたいと思っています。

委員長： 人材の評価システムについてお聞きします。例えば、保護者の方から、なぜこの方が園長になるのですかという質問があった時に、こういう評価をしましたというものを作っていないと単なる年功序列になる可能性があります。それでは良くならないと思っています。

今後は、保育所においても幼稚園においても、保護者の方になぜこの人がと説明をする必要が出てくると思います。その時に、客観的に評価を行う昇進システムがあれば説明責任を果たすことができます。単なる法人の人事だけでなく、子ども達にも影響が出てくることです。こういったルール作りについて考えていることがあれば教えてください。

A法人： 現在はそのようなルールは作成しておりませんので、今回の園長予定者について御説明させていただきます。園長予定者は、自分の子どもをずっと保育所に預けていましたし、小規模保育事業だけでなく幼稚園での教員指導を行っていた経験もあります。子育て中の先生が、保護者の方の気持ちに寄り添っていくことは大切だと考えていますし、藤白台保育園に異動予定の職員からも慕われています。性格も優しく穏やかですので、現在の藤白台保育園の先生達との協調という点から考えても適任だと考えています。

委員： 藤白台保育園の移管に対して応募しようと思った時期について教えてください。

A法人： 最初にこの話が出てきた時に藤白台保育園の園長先生にお話をさせてもらったのですが、それは2年前くらい前です。一回だけですが快くお話を聞かせていただきました。

委員： 2年間の間に藤白台保育園について学ばれたことがあれば教えてください。

A法人： 直接園にお伺いしたことはありませんが、保護者の方から学んでおります。

まず当園が預かり保育をしていなかった時に、藤白台保育園が献身的に行っていることをお聞きしました。また、藤白台保育園の先生と懇意にしている先生がいて、しっかりとした保育を行っていることや給食がおいしいこと等をお聞きしていました。

保育所の園児は幼稚園の前をお散歩して、横断歩道を渡る練習をしています。保育所の子たちが幼稚園のフェンス越しにバイバイと言ってくれるのをずっと見ておりましたので、あの子たちと一緒に保育が出来れば良いなとエントリーを考えておりました。

引継ぐことになれば、保護者の方と一緒に頑張っていきたいです。まだまだ分からない事はたくさんありますが、しっかりやっていく自信はありますので、よろしくをお願いします。

委員： 藤白台保育園では、季節行事の時に地域の方にお手伝いに来てもらったり、また保育士も外に出て行って地域の手伝いをしています。そういったことを貴園ではされていますか。

A法人： 敬老会やお散歩の時等で地域の方と会ってお話をしたり、バザーの時に色々な方に来ていただいたりします。講座を行う時には近所の興味のある方にも来ていただきました。建て替えを行う時には、地域の自治会の方ともたくさんお話をさせていただきました。自治会長ともお話をさせていただいておりますので、現在、保育所が関わっていることについては引き続き考えていきたいと思えます。

委員： 現在の給食は業者委託だと思えますが、4月から行う小規模保育事業の給食も委託ですか。

A法人： 小規模保育事業は、調理師の方を雇用して自園調理を行う予定です。

委員： 藤白台保育園を引継ぐにあたって、どのような方をいつ採用されますか。また、研修をどのようにされる予定なのか教えてください。

A法人： 自園調理であることは間違いないですが、4月から小規模保育事業の方法を採用するのか、幼稚園の方法を採用するのかはまだ決めておりません。実際には、施設や設備をしっかり確認してからになると思えます。

委員： 職員をいつ頃に採用する予定ですか。

A法人： 藤白台保育園を引継ぐことが決まりましたら、引継ぎが始まる時期に採用を行います。

委員： 藤白台保育園の給食調理員の方は、調理以外の時間に子ども達と交流を持って、食育を行ってくれています。また、運動会などの園の行事を手伝ってくれたりもします。藤白台保育園を引継いだ後も同じようなことをしていただけるのでしょうか。

A法人： そういったことが必要であれば、やっていきたいと考えています。

委員： 現在は0歳児保育をされていません。2年前に保育所を引継いでいきたいとお考えになってから、0歳児保育についてどのように学んでこられたのか教えてください。

A法人： 当園は幼稚園という施設であり、実際に保育を行うのは不可能です。見聞きするなかで学ばせていただきました。

委員： 移管後の職員体制を確認したところ、0歳児を担当される方に新人の方が何人かおられました。職員配置の考え方について教えてください。

A法人： 新人には経験のある者をつけて、バランスの取れた保育チーム作りを心がけています。当園でもそうですが、保育チームの中で考えながら現場の子ども達に対応していくことが基本になります。

委員： 自園でお仕事をされたことがない方が、チームを組んで0歳児の保育を行うことになるのですか。

A法人： 小規模保育事業の年数は浅いですが、始めるにあたって他の保育所に研修に行き、0歳児、1歳児、2歳児のクラスを重点的に見ました。経験のある方から学ばせていただき、専門の資料を持ち帰って話し合いをしながら、小規模保育を始めたという経緯があります。

実際、当園では0歳児の受入れは出来ていませんが、0歳児の事を踏まえて研修を行っていました。そういった研修を重ねた者が、経験のない者と一緒にチームを組みながらやっていくということになります。全く研修も行っていない方がチームを組むわけではありません。

1、2歳児のカリキュラムを組む時には、必ず0歳児を含めて資料を見てい

ます。実際には0歳児の指導計画は作成していませんが、常にセットで考えています。

委員： 小規模保育事業で0歳児を行うことは考えておられませんか。

A法人： 吹田市から待機児童対策として、まず1歳児をお願いしたいという経緯があったので、1、2歳児で始めています。また、0歳児を行うのであれば、別の部屋の設置が必要になりますが、準備が難しいので今は取り組んでおりません。

委員： 貴法人はずっと家族経営で運営されており、素晴らしいものを継承されていると感じています。藤白台保育園を引継いでからも、御家族で発展させて行こうという考えでしょうか。園長予定者となる方はご家族の方ですか。

A法人： 園長予定者は親族ではありません。

委員： 御家族でしっかりした理念を持ち、ひとつの園を大切に育てて継承されているのかなと感じていましたが、藤白台保育園に関しては全く別の観点から考えておられるのでしょうか。

A法人： 学校法人として、保育所のニーズに一番適した人材を選んでおります。先ほども申し上げましたが、園長予定者は子育て世代であり、そして教員の経験もあります。たくさんの人材から最適な方を選ぶのが基本と思っていますので、家族経営などにこだわることはありません。

委員長： 時間になりましたので質疑応答を終了いたします。本日はありがとうございました。

(A法人退室)

委員長： 全ての事業者の面接調査が終わりました。引続いて委員間協議を行います。

(委員間協議)

委員長： 委員間協議が終わりました。これより最終審査を行います。

3 事業者の最終審査

委員長： 事務局から最終審査の集計結果を報告願います。

事務局： 集計結果を報告いたします。

お手元に配布しました最終審査集計表を御確認ください。

最終審査集計表によりますと、社会福祉法人耕心会が8票を得ており、委員の過半数の得票を得ております。また、9名の委員が120点以上の採点をしており、過半数の委員が120点以上の採点をしております。

委員長： では、この採点結果を踏まえて、選定委員会としては、社会福祉法人耕心会を移管先候補事業者に選定したいと思います。

4 答申

事務局： 【答申書（案）を各委員に配付】

委員長： 本委員会は、吹田保育園及び藤白台保育園の移管先の選定について諮問をいただいておりますが、本日は藤白台保育園の移管先の選定について答申を行います。事務局から答申書（案）が配布されました。この答申書（案）について、何か各委員のみなさんから御意見等はございますか。

（意見なし）

委員長： では、この答申書（案）を本委員会の答申書として決定いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（異議なし）

委員長： 御異議なしと認め、この答申書（案）を本委員会の答申書として決定いたします。この答申につきましては、本委員会から市長に行うこととなりますが、本日市長は公務によりご欠席であるとお聞きしております。したがって、市を代表して児童部長に私から答申書をお渡しすることといたします。

（委員長による答申）

児童部長： 答申をいただきました。この答申結果を市長に報告した後、市が正式に事業者の決定をさせていただきます。今後は園児や保護者の皆様に配慮しながら、円滑に引継ぎを進めてまいります。委員の皆様におかれましては、公私御多忙の中、熱心に御議論いただきありがとうございました。

5 閉会

委員長： 以上をもちまして、本委員会を閉会いたします。委員の皆様からは、貴重な御意見をいただき、有意義な議論を行うことができたと思っています。お忙しい中、選定委員会に御参加いただきましたこと、私のほうからも重ねてお礼申し上げます。

吹田市におかれましては、答申の趣旨を尊重し、藤白台保育園の円滑な移管に向けて御尽力いただきたいと思います。